

## ホームレス自立支援法の5年延長が

### 国会で全会一致で可決・成立。

6月20日、参議院本会議でホームレス自立支援法の期限を5年間延長する法案が、全会一致で可決され、成立した。法の延長に多大な協力をいただいた輪番労働者、釜ヶ崎の労働者のみなさん、国会議員・地方議員、労働組合やさまざまな団体のみなさんにお礼を申し上げます。

ホームレス自立支援法は、10年前の2002年に10年間の期限付きで制定された法律である。日本で初めて、野宿生活が自己責任の結果ではないこと、排除ではなく包摂の姿勢で国と国民が解決していかなければいけない課題だと宣言した画期的な法律だった。それから10年、さまざまな対策の結果、全国で野宿生活を余儀なくされている人たちの数は、約2万6千人から9576人へと大きく減った。しかしまだ、1万人近い人たちが野宿生活を強いられており、大阪市では昨年も今年も約2千人で減少にストップがかかっている。

また「ネットカフェ難民」「派遣切り」と呼ばれた若者のホームレス化の波は、自立支援センターなどでもはつきりとあらわれている。今後、生活保護の動向やヨーロッパ経済の動き次第では、再び野宿生活を強いられる人たちが増える危険性もある。

なんとか当初の会期末ぎりぎりのタイミングで5年延長が決まり、今年8月6日の期限切れをまぬがれることができた。延長された5年間のうちに、いままでの法律と施策で不十分なところを見直し、若者のホームレス化の問題や野宿生活までは至っていないが不安定な仕事と寝場所にある人たちの問題などにも、しっかりと取り組める法律と施策にしていくことが求められている。

# きせつ ようちゅうい これからの季節は要注意！！

## かぜ おも ただの風邪だと思っていませんか！？

うつとおしい梅雨が続き、そろそろ本格的な夏に入ろうとしています。寝苦しい夜が続く日々、これからの暑い時期は心身共に要注意です。寝苦しいからと言ってお酒を飲むと、体から水分が抜け、脱水症状になります。それに加え栄養のある食事をとらない、きちんと体を休めるところがないとなると、この暑さですぐに熱中症にかかるでしょう。熱中症になると、血圧もあがり、体がしんどくなつて、頭痛、吐きけや手の震えまででてくる。ひどいくなると、血液が濃くなり、心筋梗塞を起こしやすくなるので非常に危険です。

これから暑い夏、疲れた体を休めるために、無料で泊まれて、お風呂に入つて、食事をとり、ゆつくり寝れる三徳寮生活ケアセンターというところがあります。これからの季節、自分の体に無理をかけず、いつでもスタッフに声をかけてください。

—もしも熱中症になったかなとおもったら—

○体を冷やす…涼しい日陰やクーラーの効いた室内などに移動する、とにかく体を休めよう。

○水分補給…水分だけではなく、汗によって失われた塩分も補給する必要がある。スポーツドリンクなどを少しずつ何回にも分けて補給しよう。※お酒は絶対ダメ!!

ここまでは、自分でもできる応急処置。軽い症状の場合はこれで良いが、気分が悪くなるほどなら、周囲の人にサポートしてもらい必要がある。※ひどくなったら救急車を!! 我慢しない!!

—高血圧からくる熱中症—<60代前半 男性 A判定 救急搬送>

健康診断の結果はA判定。血圧はやや高いが特に悪いところはないと言っていた。就労日は朝から蒸し暑く、朝から何も食べておらず、昼の休憩時に突然気分が悪くなり、4回ほど吐いた。最初は風邪かなと思っていたが、頭がフラフラし、だんだんと手が震えだした為、危険を感じ救急搬送となる。病院で血圧を測ると上は190を超えていた。薬を飲み1時間ほど病院内で安静。医師からはこれだけ高いと熱中症だけではなく他の合併症もでて危ない為、入院を勧められたが、後日再受診することを約束し退院。現在は、通院し薬を飲み回復に向かっている。